

平成28年度 京都市立乾隆小学校 グランドデザイン(発展型)

めざす学校像

- ・自らの能力を發揮し、地域を愛すると共に、地域に貢献できる子どもを育てる学校
- ・自分の目標を見つけ、その達成に向けて自ら学び、チャレンジする子どもを育てる学校
- ・自分の思いを伝え合い、深め合える子どもを育てる学校
- ・穏やかで思いやりのある人間関係を作れる子どもを育てる学校
- ・家庭や地域と連携を取りながら、共に子どもを育てる学校
- ・全職員で全児童を集団指導体制で育てていく学校

経営理念 「子どもが毎日楽しく通いたくなる学校」「地域に信頼され、地域と共にあゆむ学校」

学校経営方針

- 21世紀世界を舞台に、たくましく生きる人間性豊かな子どもの育成
- 教育への情熱と使命感を持ち、教育目標の具現化に向けて全力で取り組む全職員の経営参画
- すべての子ども一人一人が大切にされ、充実した学校生活を送れる学校づくりの推進
- 家庭・地域との連携をさらに強化し、地域コミュニティの核として機能する学校づくりの推進
- 学力向上をめざし、授業を中心とした実践的な研究の推進

学校教育目標 楽しく 学び合い 努力する 乾隆の子の育成

学校教育目標の具現化に向けての重点項目

- ・わかる喜びと学ぶ楽しさを実感できる授業の創造
- ・子どもの心身に寄り添った指導や支援教育の充実

- ・実践研究と授業改善・TT授業・出前授業・授業参観・伝達研修・(交換授業)
- ・配慮ある言動

健康でたくましい子どもの育成

- ・運動好きな子どもの育成
- ・健康教育の充実
- ・部活動の充実
- ・保健教育の充実
- ・はだし教育の実践

生徒指導と教育相談の充実・集団作りの推進

- ・規範意識の育成(ハートde乾隆)
- ・縦割り教育の推進
- ・不登校児童に対しての心の居場所つくり

開かれた学校づくりの推進

- ・家庭・地域との連携
- ・学校運営協議会との連携
- ・育友会との連携
- ・幼小中連携の充実
- ・ゲストティーチャーの活用
- ・地域行事への積極的参加

安全・安心な学校づくりの推進

- ・安全指導の徹底
- ・防災指導の徹底
- ・引き渡し訓練の実施
- ・安全ボランティアとの連携
- ・安全を考える会との連携

人権文化の担い手となる子どもの育成

- ・道徳教育の充実
- ・人権教育の充実
- ・いじめ・暴力を許さない学校風土の醸成(正義感溢れる子どもの育成)

支え合い高め合う集団づくりの推進と絆づくり(障害についての理解と認識)

・交流及び共同学習を行い、互いに尊重し成長し合う教育の推進
・子どもの状況を的確に把握し、通級指導を実施

平成28年度 学校教育基本指針(学校教育の重点)

確かな学力・豊かな心・健やかな体の調和のとれた育成

豊かな心(心の教育の充実)

- ・穏やかで思いやりのある人間関係作りに向けて、縦割り活動の充実と発展
- ・規範意識の育成(ハートde乾隆等)
- ・常識的なことがしっかりできる子どもの育成(元気よくあいさつをする、時間を守る、後片付けをきちんととする)
- ・人権意識を高める取組、道徳教育推進

確かな学力(学力向上)

- ・基礎的・基本的内容の定着
- ・読書活動のさらなる充実
- ・家庭と連携しての家庭学習の充実
- ・研究の成果を活かしての授業改善。
- ・言語活動の充実(コミュニケーション能力等)
- ・帯時間(朝読書・昼学習)の取組の充実
- ・出前授業・授業参観・伝達研修の実施

健やかな体の調和のとれた育成(体力向上)

- ・中間、昼休み、放課後等で、しっかり遊ばせる
- ・健康的な生活習慣を身に付けさせる
- ・運動部活動を継続する
- ・食育教育推進
- ・体育の時間での運動の質・量の確保
- ・保健教育の充実(性教育等)

好奇心や興味関心、夢や希望を基盤とする「自ら学ぶ力」を高める

他者や社会との関わりの中で醸成される豊かな人間性や道徳性、協調性を基盤とする「自ら律する力」を高める

めざす子ども像

- ・自ら学び、進んで行動する子ども
- ・明るく、心豊かな子ども
- ・たくましく、体を鍛える子ども
- ・命、人、ものを大切にする子ども
- ・伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り拓く子ども

めざす職員像

- ・子どもへの愛情や慈しむ心を持つ職員
- ・使命感と責任感のある職員
- ・一人一人の子どもをよく理解し、愛情を持って関わっていく職員
- ・研修や研究等、自己研鑽に励み、切磋琢磨して高め合う職員
- ・地域と関わり、地域と共に子どもを育てていく職員
- ・明るく仲の良い職員集団

平成28年度
重点項目
子どもの主体性と
社会性の育成